



若 草

令和7年度 6月号 R7.6.6

「命について考える週間に向けて」

今月6月は「読書月間」、そして来週は「命について考える週間」なので、1冊の絵本を紹介しながら、「命の大切さ」について考えてみたいと思います。

今回紹介する本は、「とべないホタル3」という絵本です。去年の昼の会で「とべないホタル」を紹介して、たくさんのクラスで読み聞かせをしました。今日紹介する「とべないホタル3」はその続きの話になります。「生きる」とはどういうことなのでしょう。

このお話は「怖い嵐は たくさんのホタルの 命を奪いました。」とショッキングな始まり方をします。やがて嵐はおさまり、生き残ったホタルたちは、水辺に集まりました。生き残ったホタルたちも、足が折れたり、目が見えなくなったり、皆ひどい目に合っていました。そして、その中の一匹のホタルが目で大粒の涙を浮かべて、話し始めました。「とても悲しいことがあったの。わたしのお尻が光らなくなってしまったの。」その話を聞いて、「飛べないホタル」は胸がジーンとして、目から涙が一粒こぼれました。生まれつき羽が縮れて空を飛べないホタルには、お尻を光らせることのできないホタルの悲しい気持ちが痛いほど分かったのでしょう。集まったホタル皆が暗い気持ちになっていると、近くにあった月見草の花がお月さまに向かってパーと咲きました。ホタルたちはその月見草の上で話をすることにしました。月見草の花の上はお月さまの光がいっぱいで、そこにいだけでなんだか気持ちがウキウキしてきます。それでも「光れないホタル」は、「光れないなんてホタルじゃない！私はホタルじゃないの！！」と悲しい叫び声をあげます。またみんなの気持ちが暗くなりかけたところで、月見草のお花がホタルたちに語り掛けます。「あしがおれたり 目が見えなかったり 光ることができなくとも みんな ホタルだよ みんないっしょだよ。」月見草の花の声に勇気づけられてホタルたちは少し元気になりました。それでも「今度また嵐が来たらみんな死んでしまうかも。」と、「光れないホタル」は不安がります。そこで今度は「飛べないホタル」が話し始めます。「怖いのは嵐だけではない。自分の心の中に怖いものがある。」と。そして「とべないホタル」は今まで自分がしてしまった失敗を泣きながら話します。すると、またどこからか声が聞こえます。「生きているものはみんな強く、生きているものはみんな弱い。悲しいことはいっぱいあるけど、楽しいこともいっぱいある。」その声を聞いて光れないホタルも元気を取り戻しました。「光れなくても 楽しいことをたくさん見つけるようにすればいいのね。そう考えると 心がウキウキしちゃうわ！」元気になったホタルたちは月明かりのまぶしい夜空へと飛び立つのでした。

「飛べないホタル」は、悲しくて落ち込んでいる「光れないホタル」を助けよう、元気づけようとするのではなく、ただその悲しみに寄り添うことをしました。そして、本当に怖いのは嵐ではなく、悪いことをしてしまおうとする「心の闇」だと、自分の失敗を、勇気を出して告白しながら伝えます。1番怖いものが自分の心の中になるのなら、楽しいことをいっぱい考えて心を明るくすれば、「心の闇」もなくなって、元気に生きていけると誰かが教えてくれたのです。

皆さんはどう考えますか。「とべないホタル」は、いろいろな経験をして、友達の悲しみにそっと寄り添ってあげられる優しい心と、自分の中の闇をしっかりと見つめられる強い心を

もつことができました。優しい心と強い心、両方もつにはどうしたら良いでしょうか。友達の命も自分の命も大切にするために必要なことなので、考えてみてください。

最後に私の考えを少し伝えます。私は、この芳川北小学校を、「とべないほたる3」に出てきた、「月見草」のようにしたいなと思います。ホタルたちにとって月見草の花の上は、なんだかウキウキしてくる場所でしたが、学校がみんなにとってウキウキ、ワクワクするような場所にしたいです。そして皆の命を大切にしながら、皆が楽しく学んでくれるよう校長としての仕事を頑張っていきたいと思います。

(6/6 昼の会 校長の話)

引用文献:「とべないほたる3 つきみそうのまつり」

発行:(株)ハート出版 原作:小沢昭巳 画:関 重信

お知らせ

～学校ホームページについて～

日々の活動の様子を、ブログでアップしています。また、各種たよりや学校のいじめ対策等を掲載しています。他にも、今年度、各学年で採用した準教科書・補助教材についても掲載しています。ぜひ御覧ください。

～下校時刻について～

行事予定でお知らせしている下校時刻は、全児童が校門を出る時刻(帰りの会終了時刻の15分後)としています。そのため、学級によってはお知らせしている下校時刻より前に下校することがあります。ご承知おきください。なお、日課表・週課表は、先月配付しました学校経営書に載っています。